



北海道 国際協力 フェスタ 2018

報告書

主催 北海道NGOネットワーク協議会

共催 JICA北海道

後援 北海道、札幌市、札幌市教育委員会、公益財団法人札幌国際プラザ

目 次

☆ ごあいさつ	2
☆ 北海道国際協力フェスタ 2018 概要	3~6
☆ セクション報告	7~11
➤ レイアウト	7
➤ ステージ	8
➤ 広報	9
➤ 学生企画ワークショップ	10
➤ インフォメーションデスク	11
☆ 実行委員企画	12
☆ プレイベント	13
☆ 振り返り	14
☆ アンケート結果	15~18
☆ 配布資料	19~22
☆ 掲載紙	23~24

ごあいさつ

2018年12月15日（土）、21回目を迎えた「北海道国際協力フェスタ 2018」が開催され、多くの市民のご来場を得て盛況のうちに終了いたしました。

同フェスタは、国際協力・交流に携わる道内のNGO、学生団体が一堂に会し、市民がその多彩な活動と出会い、小さくとも行動に移すきっかけとなることを主たる目的としております。2018年は「わたしたちがSDGsです」をテーマに掲げました。参加団体があらためてSDGsを見つめ、NGOとしての自覚と覚悟を示し、市民一人ひとりもその主体であることをアピールしようという思いを込めました。

テーマは堅くとも、国際問題、SDGsへの理解の入口として機能するよう、会場、プログラムには賑やかさと楽しさ、気軽さを意識し、結果、あらゆる枠を超えた温かな交流に満ちた1日となりました。

フェスタで得た出会い、発見をお持ち帰りいただいた市民のみなさま、「さぽーとほっと基金」を通して支援いただいたみなさま、国際協力への思いを個性豊かに表現くださった参加団体のみなさま、広報にご協力いただいたみなさま、取材してくださった報道関係のみなさま、そして、10カ月にわたって準備・運営にご尽力いただいた実行委員、ボランティア、開催に関わったすべての方に心より感謝いたします。

北海道国際協力フェスタ 2018 実行委員長
松澤 聖子



▲北海道国際協力フェスタ 2018 開会式

■北海道国際協力フェスタ 2018 ～わたしたちがSDGsです～ 概要

1. 北海道国際協力フェスタとは？

目的：道内 NGO 等による国際協力の推進に寄与する

目標：（１）市民へ国内外の現状や課題を伝える場となる

（２）SDGs に対する市民の認知、関心を高める場となる

（３）参加団体の活動に賛同する市民が増える場となる

（４）道内 NGO 等の知見交換の場となる

（５）準備、運営を通して学生、社会人、関わるすべての人にとっての発見、出会い、成長の場となる

2. 内容

日時：2018年12月15日（土）11:00～17:00

場所：札幌駅前地下広場（チ・カ・ホ）北3条交差点広場

主催：北海道 NGO ネットワーク協議会

共催：JICA 北海道

企画/運営：北海道国際協力フェスタ 2018 実行委員会

助成：さぽーとほっと基金

後援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、（公財）札幌国際プラザ

構成：会場内に5つのエリア「チャリティーバザーブース」「団体紹介ブース」「ステージ」

「ワークショップ」「パネル展示」を設ける。インフォデスクを設置しクイズラリーを実施

来場者数：延べ 2,000 名

3. 参加団体一覧（順不同）

1	NPO 法人「飛んでけ!車いす」の会	17	NPO 法人 北海道インターナショナル協議会
2	あしなが学生募金北海道エリア	18	酪農学園大学国際交流サークル SukaRela
3	NPO 法人 札幌VO	19	フレンドシップフォースオブ札幌
4	PLAN サポートーズ	20	北海道青年国際交流機構（北海道 IYEO）
5	（一財）北海道国際交流センター	21	（公財）札幌国際プラザ
6	北海道マルティコラネパール教育基金	22	札幌姉妹都市協会
7	フィリピン耳の里親会	23	市立札幌大通高等学校 遊語部
8	NPO 法人 どさんこ海外保健協力会	24	フェアトレードタウン札幌戦略会議
9	（公財）北海道 YMCA	25	北海道ユニセフ協会
10	NPO 法人ほっかいどうピーストレード	26	北海道青年海外協力隊を育てる会
11	（一社）滝川国際交流協会	27	セカンドハンド北海道
12	北海道大学多文化交流科目チーム	28	NPO 法人 チェルノブイリへのかけはし
13	青年海外協力隊北海道 OB 会	29	道産子ヒーロー“舞神ソーランドラゴン”
14	札幌ベトナム交流会	30	JICA 北海道
15	非戦ネット北海道有志の会	31	北海道 NGO ネットワーク協議会
16	フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議		

4. 北海道国際協カフェスタ実行委員会

	氏名（敬称略）	役割	所属
1	松澤 聖子	実行委員長	北海道 NGO ネットワーク協議会/ PLAN サポートーズ
2	岡田 朋子	事務局	北海道 NGO ネットワーク協議会/ （一財）北海道国際交流センター
3	立石 喜裕	事務局	北海道 NGO ネットワーク協議会
4	小泉 雅弘	協議会企画	北海道 NGO ネットワーク協議会 NPO 法人さっぽろ自由学校「遊」
5	島田 祐亮	事務局	北海道 NGO ネットワーク協議会 NPO 法人「飛んでけ！車いす」の会
6	舟窪 拓馬	広報 SNS	NPO 法人「飛んでけ！車いす」の会
7	佐藤 雅一	実行委員会企画	北海道 NGO ネットワーク協議会 （公財）北海道 YMCA
8	宮口 彩子	事務局（学生企画）	青年海外協力隊 OB 会
9	原田 晴子	事務局/懇親会	青年海外協力隊 OB 会
10	金（コン）里美	事務局/広報 SNS	青年海外協力隊 OB 会
11	伊藤 丈和	レイアウト	（公社）青年海外協力協会
12	杉森 洋子	事務局	NPO 法人札幌 VO
13	佐藤 千恵子	ステージ	市立札幌大通高校
14	山崎 千尋	インフォデスク	（勤務先：札幌国際大学総務課）
15	森 美紀	インフォデスク/参加料徴収	（勤務先：北海道大学）
16	木原 由里子	事務局（学生企画）	NPO 法人どさんこ海外保健協会
17	伊澤 琉奈	学生企画	日本医療大学 CBR サークル
18	渡邊 菜々花	学生企画	日本医療大学 CBR サークル
19	北島 舞依	学生企画	日本医療大学 CBR サークル
20	高岡 さくら	学生企画	酪農学園大学国際交流サークル SukaRela
21	橋本 穂琢佳	学生企画	酪農学園大学国際交流サークル SukaRela
22	高坂 泰地	学生企画/広報 SNS	酪農学園大学国際交流サークル SukaRela
23	海原 あかね	学生企画/広報 SNS	酪農学園大学国際交流サークル SukaRela
24	今井 はるか	レイアウト/広報 SNS	酪農学園大学国際交流サークル SukaRela

オブザーバー

1	松尾 真	広報	
2	伊藤 潮	設営	
3	大谷 愉	設営	

5. スケジュール

日付	名称	内容
7/11 (水)	第1回北海道国際協カフェスタ実行委員会	顔合わせ、昨年度の振り返り
7/16 (月.祝)	さぼーとほっと基金公開プレゼン	
8/10 (金)	第2回北海道国際協カフェスタ実行委員会	テーマ決め、 募集要項などの確認
8/16 (木)	北海道国際協カフェスタ参加団体募集開始 (会員団体先行募集)	締め切り 8/26
8/27 (月)	北海国際協カフェスタ (一般募集)	締め切り 9/9
9/27 (木)	第3回北海道国際協カフェスタ実行委員会	参加申込状況の確認、 ステージ企画など
10/20 (土) AM	第1回北海道国際協カフェスタ参加団体ミーティング	各団体紹介、概要説明
10/20 (土) PM	北海道国際協カフェスタプレイベント 「スマホから考える世界・私・SDGs」	ファシリテーター 開発教育協会 八木亜紀子氏
11/13 (火)	第4回北海道国際協カフェスタ実行委員会	当日に向けた 実行委員会内の最終確認
12/1 (土)	第2回北海道国際協カフェスタ参加団体ミーティング	当日の動き等の最終確認
1/12 (土)	北海道国際協カフェスタ 振り返りの会	スライドで当日の振り返り

収支報告書

項 目		金 額(円)	内 訳	
収 入	自己資金	133,000	参加費 1000×4団体/4000×17団体/10000×2団体/ 13000×2団体/15000×1団体 事業収益 その他	
	さぽーとほっと基金助成金	100,000	フェスタ分	
	その他の補助金・助成金	0		
	寄附金・協賛金	196,884	JICA北海道 現物支給	
	その他	0		
	計	429,884		
支 出	助成対象経費	報償費	5,000	協議会企画講師謝金分
			50,000	フェスタ定型チラシ作成デザイン料 (フェスタ)
			24,000	ボランティア謝礼 1000×2名、2000×2名、4000×1名 5000×3名
		通信・運搬費	2,925	通信費(チラシ配布郵送費)
		印刷費	21,565	チラシ・ポスター印刷費(A4/9,000枚 A2/100枚)
			13,500	当日配布用リーフレット印刷費(700枚)
			30,000	報告書印刷費(50部×30ページ=1,500枚)
		役務費	11,300	イベント保険、各種手数料
		賃貸費	23,815	実行委員会会場費、セミナー会場費
			197,284	会場、音響設備
	備品費・消耗品費	4,867	消耗品費(紙、文具、ガムテープ、ラミネート、腕章など)	
		32,508	看板、パネル作成費	
	その他	12,472		
	小計	429,236		
	助成対象外経費	振り込み手数料	648	
小計		648		
計	429,884			

■セクション報告～レイアウト～

報告者：伊藤 丈和（公益社団法人 青年海外協力協会）

今年度の変更箇所は、ステージを正面右側のモニター前に設置を行いました。昨年の反省を踏まえて、終日プロジェクターを利用するとオーバーヒートを起こしてしまう恐れから利用をやめ、直接パソコンからモニターへ映像を出力する形式にしました。ただし、モニターに関しては緊急時の各案内が出ることから、会場左側のモニター前にもパーテーションボードで遮らないように設置しています。中央には、パネル展示スペースを持ってきてパーテーションボードをジョイントして片面の利用としています。併せて、会場中央部に休憩スペースと、ワークショップエリアを設置しています。

各ブーススペースは車いすや来場者の往来をスムーズに出来るように、極力導線の幅を確保しています。これに関連して、柱後ろに設置していたパンフレット置き場3か所を撤去してインフォデスク2か所に集約してスペースを確保しています。

くじ引きで場所決めを行うのは例年通りですが、今年も同様に、各団体に、どのような物を展示するのか？どのような物を物販するのか？など、ヒアリングシートを事前に提出頂いたため、最悪、くじ引きで同じようなブースが同一の場所に被った時に、これらを参考に場所決めをしていきました。

例年レンタル備品の余りが出てしまうことから、事務局等と相談して、参加団体と備品の個数を事前に付け合せをして無駄の無いように準備をしました。

■次回のフェスタへ向けて

- ・パネル展示団体に対して丸テーブル1つ、椅子2脚の貸し出しを検討する。
- ・ステージ担当と相談してステージ台（4台）を次年度以降は利用しないようにするか？
- ・会場両サイドにあるモニターとパーテーションボードの遮蔽に関して、割り当て団体に事前にお知らせする。

「ステージ設置」



「基本のブース」



■セクション報告～ステージ～



報告者：佐藤 千恵子（市立札幌大通高等学校）

市立札幌大通高校遊語部は外国籍生徒 15 名、日本人生徒 17 名計 32 名で構成され、11 カ国の生徒が所属する部活動です。文化紹介活動、国際協力活動、各国訪問団受け入れ時の歓迎会の運営や通訳・翻訳を行っています。国際協力活動の一環として、本フェスタに参加するのは 6 回目となり、今年度はステージ運営を担当し、MC、音響、PC、誘導等の仕事を行いました。

事前準備として、ステージスケジュールを組み、MC原稿の作成や練習を行いました。MCを担当した生徒にはネパール出身の生徒もいたため、日本語の発音に大変苦労しましたが、当日無事にMCを務めあげることができました。また、今年度のステージ出演団体のステージ内容は映像やパワーポイントを使う団体が大多数であったため、昨年度の反省を生かし、熱でダウンしやすいプロジェクターを使用せず、ステージ場所をTVモニター前に設置し、スムーズに映像を流すことができました。

当日は、発表団体は発表時間の 10 分前に舞台裾で待機させたり、音響機材操作においてはスピーカーの特性に合うようにミキサーのEQを調整したり、映像やパワーポイントの使用団体のためのPC操作をしたりし、スムーズなステージ運営ができました。来年度に向けての反省事項として、コードレスマイクはチャンネルが混線しやすいため、有線マイクのみを使用した方がよいと感じました。またステージ時間の 20 分を超える団体や少ない団体があり、時間調整がかなり難しかったため、事前に発表団体にリハーサルなどを行っていただき、正確な時間で申請してほしいと思いました。

最後に、生徒たちは本フェスタでステージ運営を担当したことにより、普段学校で学んだ知識や技術を国際協力につなげたことがなよりの喜びで、同時にとても達成感を感じることができ、大変いい経験となりました。

最後に、生徒たちは本フェスタでステージ運営を担当したことにより、普段学校で学んだ知識や技術を国際協力につなげたことがなよりの喜びで、同時にとても達成感を感じることができ、大変いい経験となりました。

【ステージプログラム】

道産子ヒーロー“舞神ソーランドラゴン”	“ソーランドラゴン”国際協力入門教室
北海道マルティコラネパール教育基金	1997年創設からの活動、成果、今後（トーク）
「飛んでけ!車いす」の会	「若者によるもってけ!車いす体験」報告
市立札幌大通高校 遊語部	ダンス&歌（ライブ）
フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議	フェアトレード対談：札幌×名古屋
札幌国際プラザ・札幌姉妹都市協会	姉妹都市の子どもたちからのメッセージ
北海道 YMCA	国際協力活動を映像で
非戦ネット 北海道有志の会	なぜ武力行使に反対なのか。共に考えよう
北海道ユニセフ協会	水と衛生の活動を紹介
JICA 北海道	海外の研修員とクイズと歌で盛り上がりよう

■セクション報告～広報～

報告者：松澤 聖子（実行委員長）

広報班では、印刷物作成と開催告知、当日撮影（手配）を担当しました。

○印刷物

- ・翌年以降もベースカラー、一部テキストの変更で利用できるデザインをデザイナーに発注。デザイン、データともにクオリティを上げ、見劣りしないものとなりました。
- ・チラシ、ポスター、会場大看板、当日配布リーフからスタッフの腕章まで、統一感を重視。
- ・チラシやポスターには制作時に可能な限りの情報を盛り込む。（内容、参加団体）
- ・当日配布リーフは、これまでのプリンター出力/色上質紙&モノクロから、ネット印刷/コート紙&両面カラーに変更、さらに制作スケジュールを早め、入稿データを事前告知に利用。

○広報活動

- ・10月22日プレスリリース配信。（市政記者クラブ、フリーペーパー、ネット掲示板など）
- ・同日 SNS 発信スタート。SDGs の 17 のゴールごとに参加団体を紹介。後半はブース、ステージなど参加形態を紹介。直前には会場レイアウト、ステージプログラムを発信。投稿数はフェイスブック 25、ツイッター 124、インスタグラム 80。
- ・参加団体、実行委員の協力を得て、地下鉄駅、JR 駅、区民センター、カフェなどでポスター掲示、チラシ配架。また参加団体のイベント時にはチラシを配布。
- ・北海道新聞、同折り込み「さっぽろ 10 区（トーク）」などに開催告知掲載。
- ・当日、HTB 昼のニュースで開会式のようなすが放送され、後日、北海道新聞、朝日新聞に記事掲載。

○当日の撮影

- ・「フォトボランティア ポレポレ」に依頼。計 4 人、常時 2 人体制で開会式より閉幕までを撮影。撮影データは来年度の広報でも使用。

※多くの方があらゆる機会にフェスタの告知にご協力くださいました。ありがとうございます。



▲ポスター掲示例

■セクション報告～学生企画ワークショップ～

報告者：伊澤 琉奈（日本医療大学2年）、高岡さくら（酪農学園大学2年）

学生企画ワークショップは、日本医療大学 CBR サークルから4人と酪農学園大学国際交流サークル SukaRelaのメンバー4人で構成されています。当日は、4人の学生ボランティアの皆さんに協力していただき8人で運営しました。

私たちは、北海道国際協カフェスタが参加していただいた方々の記憶に残るものにしたいという想いの下、子どもたちや幅広い年齢層の方々に国際協力の楽しさを伝えることをテーマに活動しました。内容はカラフルな毛糸や木の枝、松ぼっくり、胡桃の殻などの自然素材を使った「モノづくり体験」です。毛糸は実行委員、参加団体の皆様からの寄付でほとんど賄うことができました。他には使われなくなったステンドグラスの切れ端、シーグラスを材料として集めました。その他の道具は JICA さん、国際プラザさんにお借りしました。



準備は内容計画を8～11月頃、材料収集を11～12月始に行いました。当日は、参加者約40人でした。全体的に子どもの割合が多く、次に高齢者の方、中には高校生や20代くらいの方も参加してくださいました。比較的女性が多かったです。参加者の方々は様々な材料を組み合わせる自由な発想で楽しく作品を作って頂くことができました。

準備は内容計画を8～11月頃、材料収集を11～12月始に行いました。当日は、参加者約40人でした。全体的に子どもの割合が多く、次に高齢者の方、中には高校生や20代くらいの方も参加してくださいました。比較的女性が多かったです。参加者の方々は様々な材料を組み合わせる自由な発想で楽しく作品を作って頂くことができました。



良かった点は、当日予想以上に参加者が多かったことと参加者の皆さんに楽しんでいただけたことです。準備段階では多くの皆さんが毛糸などの材料を提供して頂いたことです。

反省点は、当日ワークショップが何をしているかわかりにくかったこととボンドを使用したため接着に時間がかかったことです。準備段階では内容の計画から最終決定までに時間がかかったことです。また役割分担を上手にできなかったことで負担が偏ってしまったことです。

参加者の皆さんが作品を完成した時、笑顔で「楽しかった」と言って頂けたことがとても印象的で嬉しかったです。直接、国際協力とは結び付かないことだったかもしれませんが学生企画ワークショップ無事に終えることができました。実行委員の皆さん、参加団体の皆さんのおかげで準備、当日運営ができました。誠にありがとうございました。

○ワークショップ作品ギャラリー○



■セクション報告～インフォメーションデスク～

報告者：森 美紀

インフォメーションデスクは4名ずつ2コーナー（大通駅側、札幌駅側）にわかれて合計8名にて担当しました。

当日用務は主に、インフォメーションデスクの設営（2か所）、出展団体への配布物（パネル等）の引き渡し、通行人への呼びかけ（クイズラリー対応も含む）及び、フェスタ終了後の確認作業（クイズラリー参加人数のカウント、各出展団体への配布物回収等）です。



《感想》クイズラリーの説明や呼び込み、撤収まで含めると、8名はちょうど良い人数だったと思います。なお、最低でも6名はいると、「インフォメーションデスクに残る人」、「流動的に会場内を案内する人」という分担が休憩する人も含めて無理なく出来て良いのではないかと思います。

《気を付けた点》「インフォメーションデスクには必ず一人は常駐する」と「ステージで行われているプログラムをリアルタイムで確認する」の2点でした。

《反省点》出展団体デスクの案内やステージ案内、ワークショップ案内を満遍なく出来なかった点です。当日はクイズラリーの用紙配布及び説明に重点を置きすぎて偏った案内になってしまったと思われる。

《今後の引き継ぎ事項》

「①ワークショップへ誘導するためのツールの作成（B5程度のチラシ作成、完成品の展示、ポスター掲示等）」、「②複数デスク循環してもらうための工夫」、「③各出展団体デスクの今現在の状況の確認」の3点です。また①と重複しますが、デスクのデコレーションに関して、ワークショップ等企画ものの掲示だけではなく、全体的に広報担当の方とももっと連携して派手にデコレーション出来れば良いのではないかと思います。



■北海道国際協力フェスタ実行委員会企画

① 「クイズラリー」

報告者：佐藤 雅一

- 目的 1.クイズを通じて、会場内を一回りしてもらおう。
2.クイズを通じて、世界で起きている様々な課題や現状を知ってもらおう。
3.クイズを通じて、国際協力の必要性を知ってもらおう。
- 問題設置場所 チャリティーバザーブース 14
活動紹介ブース 11 合計 25 カ所
- 問題数 子ども・大人共通 10 問
- 問題設置方法 会場内を5つのエリアに分け、各エリア内の1ブース計5カ所を回るように設定する。



活動紹介ブースで2エリア、チャリティーブースで3エリア 計5エリア
ブースにA4サイズの問題を配布し、参加者が来たら見せる。
解答用紙は、参加者が持参する。回答用ペンは各ブースに配布する。

- 実施手順 ①インフォメーションで解答用紙を配布する。
・解答用紙には、ブースが5カ所指定されている。
②会場を5つのエリアに分け、各エリアの中から1カ所を回る。
・回る場所は解答用紙に記載されている。
③ブースに設置されている問題を読み、解答用紙の番号に印を付ける4択方式
・正解だと思う番号に○を記入する。ペンは各ブースに配布する。
④5カ所回り終えたら、解答用紙をインフォメーションに提出する。
・答え合わせが出来るハンドブックと記念品を渡す。

- 評価
- ・参加者：200名（用意した配布用解答用紙は途中でなくなった）
 - ・ゴールした人：160名（インフォメーションに解答用紙を提出した人数）
 - ・実施前は、子どもには問題が難しいのではとの意見もあったが、子どもの方が真剣に考え、きちんと回答していたとブースで対応していて感じた。
 - ・クイズラリーがなければブースに来てくれる人は極端に少なかったのが助けられた。

② ステージ企画「札幌をフェアトレードタウンに！」×「名古屋・原田さとみさん」

報告者：松澤 聖子（実行委員長）

フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議会長の菅野氏と日本で2番目に同タウンに認定された名古屋の原田氏に登壇いただきました。2018年10月末に札幌市議会にて同タウン推進に関わる決議が可決、11月末には秋元市長の支持表明と、認定を受けるための条件が揃った時期のタイムリーな企画となりました。



■北海道国際協カフェスタ 2018 プレイベント

- 「スマホから考える世界・わたし・SDGs」 サプライチェーンからみた企業と市民の責任 -

報告者：小泉雅弘

- 日 時 2018年10月20日(土) 15:00~17:30
- 会 場 佐藤水産文化ホール(札幌市中央区北4西3交洋ビル3F)
- 参加費 500円(ただし、事前の参加団体ミーティング出席者は無料)
- ファシリテーター 八木亜紀子さん(DEAR 事業主任、PARC 理事)
- 主 催 北海道 NGO ネットワーク協議会/NPO 法人さっぽろ自由学校「遊」
- 助 成 環境再生保全機構地球環境基金
- 参加人数 42名(一般23名、ミーティング参加者19名)

今回のワークショップは、DEAR 八木さんより別の仕事で来道の予定ありとの連絡を受けたことから、開催に至った。テーマ的にも時期的にもフェスタのプレイベントとして開催することがよいと判断し、比較的早い時期に連絡を受けていたため参加団体ミーティングと重ねて実施することができた。また、さっぽろ自由学校「遊」との共催とすることで、謝金、会場費などの経費は「遊」の助成金でまかなうことができた。

内容的には、DEARのワークショップ教材「スマホから考える世界・わたし・SDGs」からのアクティビティとPARCのDVD教材「スマホの真実」の視聴を組み合わせたもの。入門的な内容ではあったが、身近なモノからその裏側にある問題に気づくという開発教育の王道ともいえるアプローチで、とりわけ急速に普及し多くの人にとって必需品となっているスマホをテーマとしたワークショップは、問題を自分事として考える上で入りやすく、世代を越えて参加しやすいと感じた。

協議会としては、フェスタ以外の活動があまりできていない中で、参加者の確保という面でも、フェスタや会議参加への動機付けという面でも、事前ミーティングに重ねてプレイベントを行うことは有効だと感じた。



■フェスタ 2018 の振り返り

報告者：立石 喜裕（北海道 NGO ネットワーク協議会会長）

昨年、20 回目の記念フェスタを経て、今年度の北海道 NGO ネットワーク協議会の総会では、今後のフェスタの持続性を高め、その効果を北海道の NGO 全体の活性化につなげるため、①フェスタ予算の自主財源確保を図ること、②NGO ネットワーク協議会に学生役員を加え活性化を図ること、③北海道 NGO ネットワーク協議会の活動理念・ビジョン作りをおこなうこと、等を決めました。この流れを受けフェスタの団体参加費負担が大きくなりましたが、今後、自主財源で継続する見通しが立ちました。

また、本年度の北海道 NGO ネットワーク協議会の学生理事として昨年度のフェスタの実行委員として大活躍した伊澤さん、橋本君が加わり学生視点を重視したことは、今年のフェスタの助成金申請の「札幌市市民まちづくり活動促進助成金」の公開プレゼンテーションでも高く評価されました。彼らが昨年の経験を受け、国際協力に関わる学生ネットワークを作りたいとの希望を後押しすると同時に、今後の会の活動理念・ビジョン作りをはじめ北海道の市民活動全体の活性化にもつながることを願っています。

今年のフェスタのテーマ「私たちがSDGs です」は斬新的でした。世の中の弱い立場の人に寄り添い活動を続けてきた NGO にとってSDGs は新しいビジョン、流行では無く、本来掲げてきたテーマであるという再認識と、全員参加でやる、というメッセージが込められました。

9月6日発生した胆振東部地震によって被災された方々に対して、フェスタの中でキャンペーン化はしませんでした。震災ボランティアや支援活動情報を共有し、仲間で安平町の災害ボランティアに参加するなど、情報交換と支援の輪も広がりました。この繋がりを大事に育てたいです。

フェスタのアンケート結果でも、参加者の満足度は非常に高いものでした。実行委員長の松澤さんは裏方作業の細かい部分にまで気を配り、全身全霊をフェスタの完成度を高めるリードをしていただきました。実行委員の皆さんも舞台裏を支えるために、いったいどれだけ時間つぎ込んでいただいたのでしょうか、頭が下がります。皆で共通の目標のため作り上げて行く過程そのものが尊く、目に見えないところにこそ大切なものがあります。今年まいた種が育ち、実を結び、次の世代の種を生み出していくように永遠につながっていくことを実感します。この営みこそが、誰ひとりとり残さない、住み良い社会を作るというSDGs そのものだと思います。本当にありがとうございました。



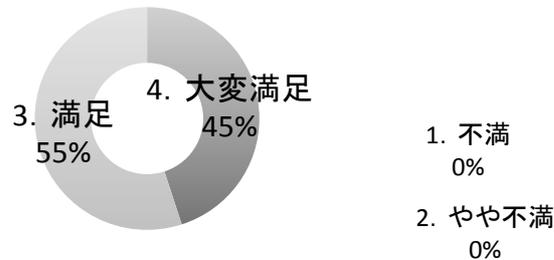
今回のテーマにもなっている SDG's のオリジナルソング。昨年から引き続き披露されました。

対象:参加団体29

回答募集期間:2018年12月20日～12月31日

回答総数:20

(1) 今年のフェスタの全体的な満足度を教えてください。[回答20]

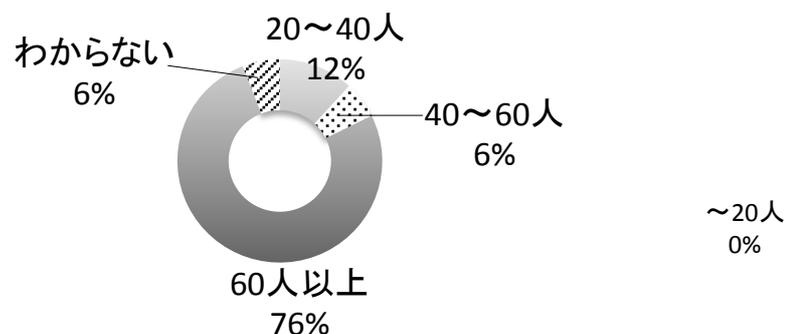


(2) (1)の回答の理由を教えてください。

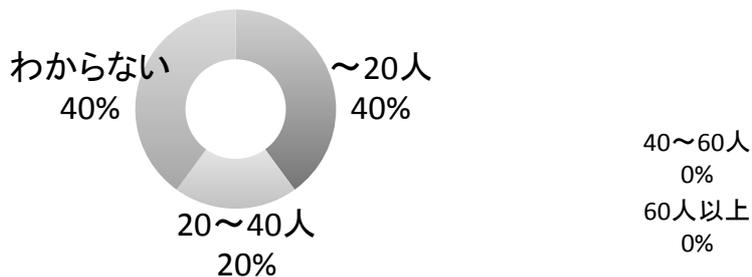
- ・今回の出店で、団体としてフェスタ参加の戦略性が見出せた。
- ・自分のブースが忙しく、フェスタ全体回れなかった
- ・来場者も例年に比べ多いような感じを受けました。
- ・ステージを見るお客さんが少なかったと感じます。
- ・来場者の数がかかなり増え、自分たちの団体の活動にも興味をもってもらえたが、ブースの売り上げはあまり増えなかったから。
- ・たくさんの方に参加していただいたので
- ・多くの人に来てくれた、多くの団体と共に活動できたから。
- ・子どもから大人まで幅広い世代の来場者に問う団体の活動をPRすることができる大変いい機会だったため。
- ・不安点なく参加できたから。スタッフがだれかわかりやすく聞きやすい雰囲気もあったから。ありがとうございます。
- ・クイズラリーで戸惑う人をよく見かけた
- ・若い方々が実行委員として積極的に役割を担ってくださって感謝です。

(3)【ブース】あなたの団体のブースを訪れた来場者のだいたいの人数を教えてください。

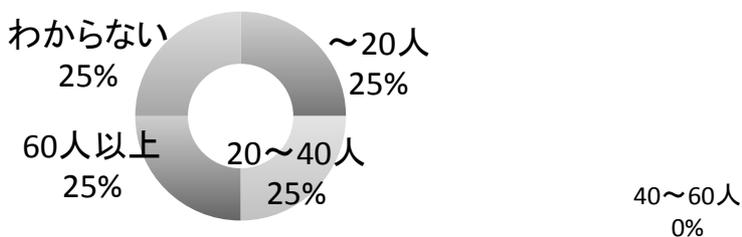
[回答17]



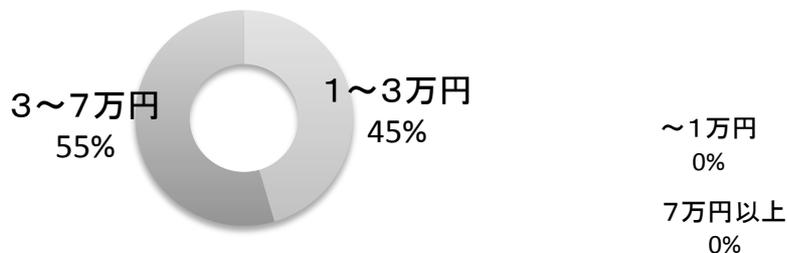
(4)【ステージ】あなたの団体のステージのだいたいの観覧人数を教えてください。[回答5]



(5)【パネル展】あなたの団体のパネルを見た、だいたいの人数を教えてください。[回答4]



(6)チャリティーバザーの参加団体にお尋ねします。売上はどのくらいでしたか？[回答11]



(7)開催時間(11時から17時)はどうでしたか。[回答20]



(8) (7)で2を選んだ方は希望時間帯を教えてください。[回答2]

- ・準備と撤収時間を考えるとこの時間がベストだと思う。
- ・設営時間が長く取れて良い

(9)会場レイアウトについて、ご意見、ご要望があればご記入ください。[回答8]

- ・特になし
- ・良い
- ・大変良かったです。ありがとうございました。
- ・今年のレイアウトでよかったと思う
- ・人が集まるブースとあまり人が来なかったパネル展などがあったので、人の流れが全体にいくような配置を考える必要があるかも
- ・とても良かったと思う
- ・「ライトは必要ならば持参」とのことでしたが、たまたまブースが照明の真下で必要ありませんでした事前に照明の位置も分かるとありがたいです。
- ・会場内の通路がしっかり確保されていてよかった。パネル展が人の流れからはずれていたのだけが残念でした。

(10)ポスター、ちらし、当日リーフ、大看板などの統一デザイン、広報活動についての満足度を教えてください。[回答17]



(11)開催前に「もっとこういう情報がほしかった」と思ったことがあれば教えてください。

[回答5]

- ・特にありません。十分に準備されていたと思います。また、当日の準備・片付けも大変スムーズで、これもひとえに松澤実行委員長はじめ実行員の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。
- ・情報は十分きていたと思う。
- ・特になし
- ・全団体が議事録を見ていないのか、情報共有されていない点があったと感じた
- ・スタンプラリー（前日にいただいた）

(12)その他、ご意見、ご感想、企画アイデアなどご自由にご記入ください。[回答9]

- ・ステージにおいて客引きの目的があるため、もっとパフォーマンスを増やすべき
- ・ステージは、特に呼び込みもなくスーッと始まっていたので、見ている人がほとんどいないものもあった。もう少しつなぎのMCで呼び込みをするなど、工夫してはどうか？
- ・学生企画はとてもよかったと思います。

・とにかく、年々賑わいが出てきて、とてもよかったです。松澤実行委員長、実行委員の皆様、本当にありがとうございました。また参加協力いただきました団体の皆様にも心から感謝申し上げます。欲張りかもしれませんが、年々各ブースでの販売が増えている気がする一方で、どのような形がいいのかアイデアが浮かばないのですが、各団体の活動を紹介する場面があったらよいのではないかと…と…思ったりも致しました。大変お世話になりました（ネットワーク協議会に入っていてよかったです!!）。

・クイズラリーはとてもよかったです。子ども用の問題も必要ではないかと思っ

・クイズラリーの問題が子供には難しいのではないかと意見もありましたが、むしろ子供の方がきちんと考え、答えていました。200枚用意した問題用紙は途中でなくなる程参加者がいました。子供には難しいと考えるのは大人の感覚で、子供は子供の視点で国際協力をきちんと考えていると思いました。特に国際協力フェスタのクイズラリーに参加しようとする子供達に対しては、大人も真剣に向き合い共に考える事が必要に思いました。来年も続けてほしいと思います。

・クイズラリー参加者から「ブースの看板にブース番号がないので、どこのブースに行けばいいか探しづらい」という意見がありました。

・SDGsの大きな看板、とてもよかったですね。通行人が見える位置に置ければPR効果がもっとあったような気がします。（安全上あの位置だったと思いますが…）

・ステージ発表、歌の音量に注意してください。お客様の声が聞こえませんでした。

(13)他の団体と共有したいと思う、印象に残った来場者の声、エピソードがあれば教えてください。

[回答7]

- ・このようなイベントをやっているのを知らなかった。もっと宣伝してほしい。
- ・20年以上継続しているんだ〜と感心した来場者の言葉が多数あった。
- ・毎年リンゴを販売しているので、「去年も買わせてもらったので…」というリピーターの方が複数おられてありがたかったです（一方で、団体の知名度向上と活動内容の周知が課題ですが…）。
- ・参加者の年齢層がはっきりしている（関心のある学生、高齢者）点。一般の人をどう巻き込めるかと話していたことが印象的でした。
- ・NGO非戦ネット有志の会、佐藤さんのお話が非常に良かったです。
- ・「国際協力ってもっとお堅いかと思ったら、お祭り感があって楽しいイベントなんですね」という声がありました。「ネイルが寄付につながるなんて意外」という声もありました。
- ・今年も「おつりはいいから、寄付に回してください」という方が何人もいらっしやっ。ありがたいことです。
- ・当日の打ち上げ時間がステージにも出ていた原田さんの講演会と重なり、参加できず残念でした。

北海道 国際協力 フェスタ 2018

わたしたちがSDGs*です。

SDGs(エスディーゼズ)は、
平和な未来に向かい国際社会全体が掲げる目標。
そして、いまを生きるわたしたち全員の目標です。

2018年12月15日(土) 11:00 ~17:00

札幌駅前通地下広場(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場[西]

SDGsの17のゴールをめざし、
小さな一歩を積み重ねるNGO*が
今年も師走のチ・カ・ホに集結!

- チャリティバザーブース**
異国の温もりあふれる雑貨や
フェアトレード*商品、ネイルも!
- 活動紹介ブース**
NGOの活動を知るコーナー。
ボランティアの相談もお気軽に。
- パネル展**
じっくり、ゆっくり、ビジュアルで
情報収集。
- ステージ**
トークや映像、パフォーマンスと
多彩なプログラム、ヒーローも登場!
- ワークショップ**
毎年子どもに人気の手作り体験。
今年は何ができるかな?
- クイズラリー**
会場内を回れば、SDGs*ツウ。
めざせコンプリート!

※このマークがついていることばは、裏面を見てね!

主催:北海道NGOネットワーク協議会
共催:独立行政法人 国際協力機構北海道センター(JICA北海道)
後援(予定):北海道、札幌市、札幌市教育委員会、
公益財団法人札幌国際プラザ

お問い合わせ
北海道NGOネットワーク協議会 事務局・岡田
〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNビル3階
(公財)札幌国際プラザ内 電話011-211-5028

北海道国際協力フェスタ

わたしたちがSDGsです。

かわいいモノ、楽しい人、知らなかった国、じーんとくる話…
世界との出会いをたくさん用意して、みなさまをお待ちしています！



共感、共鳴する団体との出会いがあるかも。



おとなもつい夢中になるワークショップ。



どのブースにも「目からウロコ」の話が満載。



パワースタンプのストーリーにもぜひ耳を傾けて。



ステージではごきげんなダンスやライブも♪



今年も個性豊かな約30団体が集まります。

※写真は2017年のものです。

知ってハナタカ、 国際協力キーワード ③

SDGs(エスディーゼズ)

2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略です。17の目標で構成され、「No one will be left behind(誰ひとり置き去りにしない)」を合言葉に各国政府、NGO、民間企業、市民、みんなで2030年までの達成をめざします。



NGO(エヌジーオー)

「non-governmental organization(非政府組織)」の略。世界の様々な問題の解決に政府や国際機関ではなく民間の立場から取り組む非営利の市民団体です。

フェアトレード

「Fair Trade(公平貿易)」は、途上国の作物や製品をその価値や労働に見合う適正な価格で取り引きすることによって、生産者の生活向上を図る仕組みです。

北海道国際協力フェスタ2018参加団体(五十音順)

●あしなが学生募金北海道エリア●独立行政法人 国際協力機構北海道センター(JICA北海道)●NPO法人 札幌VO●公益財団法人 札幌国際プラザ●札幌姉妹都市協会●札幌ベトナム交流会●市立札幌大通高等学校 遊語部●青年海外協力隊北海道OB会●セカンドハンド北海道●一般社団法人 滝川国際交流協会●NPO法人 チェルノブイリへのかけはし●NPO法人 だんご海外保健協力会●道産子ヒーロー「舞神ソーランドラゴン」●NPO法人「飛んでけ!車いす」の会●非戦ネット 北海道有志の会●フィリピン耳の里親会●フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議/RCE北海道道央圏協議会●PLANサポーターズ●フレンドシップフォース オブ札幌●NPO法人 北海道インターナショナル協議会●北海道NGOネットワーク協議会●一般財団法人 北海道国際交流センター●北海道青年海外協力隊を育てる会●北海道青年国際交流機構(北海道IYEO)●北海道大学多文化交流科目チーム●NPO法人 ほっかいどうピース・トレード●北海道マルディコネパール教育基金●北海道ユニセフ協会●公益財団法人 北海道YMCA●酪農学園大学 国際交流サークル SukaRela

参加団体をシリーズで紹介します。
「いいね!」や拡散、大歓迎!

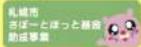


札幌市
さばーとほっと基金
助成事業

ステージスケジュール

時間	団体名(アルファベットは平仮名の読み順付)	内容
11:00~11:20	開会式	
11:30~11:50	④ 道産子ヒーロー "舞神ソーランドラゴン"	道産子ヒーロー "ソーランドラゴン" 国際協力入門教室
12:00~12:20	⑤ 北海道マルディコナネパール教育基金	1997年創設以来の活動内容と成果及び今後の計画をトークで
12:30~12:50	⑥ NPO法人 "飛んでけ!車いす"の会	当会20周年事業"若者によるもってけ!車いす体験"参加者によるタイヘ車いすを届けた体験談
13:00~13:20	⑦ 市立札幌大通高等学校 遊語部	高校生によるダンスと歌の披露
14:00~14:30	⑧ フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議 / RCE北海道央圏協議会	対談:「札幌フェアトレードタウンに」×「名古屋-原田さとしさん」
14:40~15:00	⑨ 公益財団法人 札幌国際プラザ 札幌姉妹都市協会	札幌の姉妹都市の子供たちからのメッセージを映像でお届けします
15:05~15:25	⑩ 公益財団法人 北海道YMCA	YMCAの国際協力活動を映像でご紹介します
15:30~15:50	⑪ 非戦ネット 北海道有志の会	なぜ武力行使に反対なのか。一緒に考えてみませんか
16:00~16:20	⑫ 北海道ユニセフ協会	「水と衛生」を中心にユニセフの活動を紹介します
16:30~17:00	⑬ 独立行政法人国際協力機構 北海道センター(IIICA北海道)	青年海外協力隊や海外の研修員と楽しむステージ!クイズや歌で盛り上がるよ
17:00~	閉会式	

北海道 NGO ネットワーク 協議会 (事務局: 廣田)
 〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNLビル3階
 (公財) 札幌国際プラザ内 電話011-211-5028



北海道国際協力フェスタ 2018

わたしたちがSDGsです。

SDGs(エスディーゼーズ)は、
 平和な未来に向かい国際社会全体が掲げる目標。
 そして、いまを生きるわたしたち全員の目標です。

2018年12月15日(土) 11:00~17:00

札幌駅前通地下広場(地下街) 北3条交差点広場(西)

■主催: 北海道 NGO ネットワーク協議会 ■共催: 独立行政法人 国際協力機構北海道センター(IIICA北海道)
 ■後援: 北海道、札幌市、札幌市教育委員会、公益財団法人 札幌国際プラザ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略。17の目標で構成され、「誰ひとり置き取りにしない」を合言葉に各国政府、NGO、民間企業、市民、みんなで2030年までの達成をめざします。

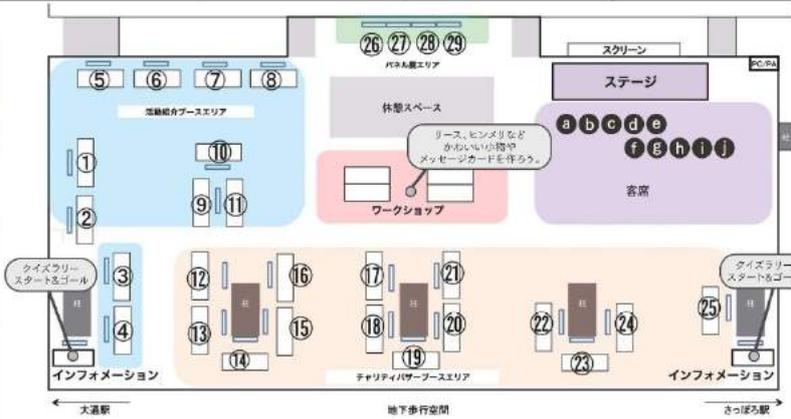


① 北海道ユニセフ協会 世界の子どもたちの命と健康を守る活動を支援しています。	⑦ JICA 北海道 青年海外協力隊派遣など、途上国支援を行う政府系機関です。	⑪ 農学学園大学国際交流サークル SukaRela(スカレラ) 交換留学を通してお互いの国の文化を認識しています。	⑮ フレンドシップ フォース オブ 札幌 ホームステイを通じて世界平和を目指します!	⑲ 滝川国際交流協会 TAKIKAWAリングで国際交流。	⑳ ほっかいどうピース・トレード 美味しい珈琲やチョコを通してフェアトレードを紹介します。
② 北海道青年国際交流機構(北海道 IYEO) 世界中の人と繋がりたい人、来てください!	⑧ 青年海外協力隊 北海道OB会 青年海外協力隊から帰国したOB/OGの団体です。	⑫ 北海道 YMCA ベトナムの農村で教育環境整備活動を行っています。	⑯ ださんご海外保健 協力会 ネパールで医療保健を中心に活動しています。	⑳ ⑳ チェルノブイリへのかけはし 放射能被害の救済・啓蒙活動をしています。	㉒ 北海道マルディコナネパール教育基金 ネパールの子供たちが皆学校に通えるよう応援しています。

会場案内

会場内を巡るクイズラリーも実施中。解答用紙はインフォメーションで手に入れてね。

③ 非戦ネット 北海道有志の会 武力行使に反対し、武力に頼らない平和な世界をめざします。	④ 北海道 NGO ネットワーク協議会 道内NGOのネットワーク、NGOと市民を結びます。	⑤ 札幌姉妹都市協会 札幌の姉妹・友好都市の魅力や特色を広く市民にPR!	⑥ 札幌国際プラザ 異なる言語・文化を尊重しあい、共生の街創りを目指します。
-------------------------------------------------	--------------------------------------------------	-----------------------------------------	-------------------------------------------



⑨ 北海道大学 多文化交流科目チーム 難民は遠い国の話? '共に生きる'を一緒に考えましょう!	⑬ 札幌VO アジアの雑貨で笑顔の交換「スマイルトレード」推進中。	⑰ 市立札幌大通高校 遊語部 10か国の生徒が文化紹介・国際協力を行う団体です。	⑳ フィリピン耳の里親会 フィリピンの聴覚障害児への就学支援と、ろう教育向上支援。	㉑ 飛んでけ!車いすの会 日本で使われなくなった車いすを引き取り、海外の必要な方へ届けています。今年20周年!
⑩ 北海道インター ナショナル協議会 異文化や諸外国との相互理解、国際化寄与事業を行っています。	⑭ 北海道国際交流 センター 多様性を共に支えあう社会づくりを目指し!	⑲ 札幌ベトナム交流会 市民レベルでベトナムとの友好・親善を深める交流活動をしています。	㉒ セカンドハンド北海道 カンボジアの教育・医療支援を行っています。	㉓ フェアトレードタウン さっぽろ戦略会議 / RCE北海道央圏協議会 フェアトレードを通じた持続可能な世界の実現を目指しています。

北海道国際協カフェスタ 2018 プレイイベント

さっぽろ自由学校「遊」連続講座「企業と人権～SDGs時代の企業に求められるもの」プレ企画

スマホから考える 世界・わたし・SDGs

-サプライチェーンからみた企業と市民の責任-

生活必需品と考える人も多くなったスマホ。そんなスマホが採掘現場や組立工場で様々な問題を引き起こしている!? ワークショップを通して、消費者として、また、市民として果たすべき責任を考えます。

10月20日(土)

15:00～17:30

会場 佐藤水産文化ホール

札幌市中央区北4西3交洋ビル3F(JR札幌駅南口前)

参加費 500円(要申込)



●ファシリテーター 八木 亜紀子さん

認定 NPO 法人開発教育協会 (DEAR) 事業主任。大学時代に国際ワークキャンプに参加したことをきっかけに、ボランティアや市民活動の世界へ。2007年より DEAR の職員となり、広報や教材作成、ワークショップのファシリテーターなどを務めている。2017年度よりアジア太平洋資料センター (PARC) 理事。



スマホと申します



【申込・問合せ】 TEL.011-252-6752 FAX.011-252-6751

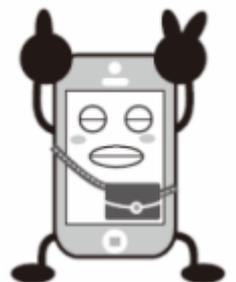
E-mail syu@sapporoyu.org

(さっぽろ自由学校「遊」・小泉)

【主催】北海道 NGO ネットワーク協議会

NPO 法人さっぽろ自由学校「遊」

【助成】環境再生保全機構地球環境基金





朝日新聞道内版 2018.12.16 朝刊

朝日新聞デジタル > 記事

北海道

「国際協力、楽しんで」

北海道記事

2018年12月17日09時34分

シェア ツイート フォークロード メール 印刷

19 1/11

続きから読む



北海道大学の学生が出展したブースで話を聞く参加者＝札幌市中央区

札幌でフェスタ、学生ら参加

道内の国際協力に関わる団体が集まる「北海道国際協力フェスタ」が15日、札幌駅前通地下歩行空間（チカホ）で開かれた。訪れた人は、地球規模の課題解決のために国連が提唱したSDGs（持続可能な開発目標）について学ぶクイズなどを楽しんだ。

北海道NGOネットワーク協議会が主催。「わたしたちがSDGsです」をテーマにステージ発表のほか、25団体がブースを出展した。

実行委員会の高校生と大学生8人はクリスマス風の飾り付けを子どもたちに作ってもらったワークショップを企画。リーダーの大学2年伊沢琉奈さん（20）は「国際協力を難しく考えるのではなく楽しんで欲しい」と話した。

北海道大学のチームは「難民のためになにができるか」を考えるシミュレーションを企画。参加した中学1年の小倉まりあさんは「国際協力は知らないことばかり。マラリア対策が難しいことがわかった。世界の状況が少し知れてよかった」と話した。

（今泉奏）

朝日新聞デジタル 2018.12.17



[連絡先]

北海道NGOネットワーク協議会

事務局・岡田

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNビル3階(公財)札幌国際プラザ内

TEL. 011-211-5028 FAX. 011-232-3833

E-Mail. okada@hif.or.jp